

NPO法人ピアサポートF.A.cafeは食物アレルギーの
治療に頑張る子どもたち・ご家族のピアサポーターです。

令和元年9月～12月の活動内容

共に 学ぶ

食物アレルギーを正しく・楽しく学んで体験する子ども向けワークショップ「キッズチャレンジ」一緒に学んで仲良くなれる一人じゃないから頑張れる、そんな場所と機会を患児さんに提供しています。

9月

品川食物アレルギーの会主催
キッズチャレンジを当会がプロデュース
食物アレルギーを
みんなで学ぼう



10月

こどもまるだいで共催キッズチャレンジ
ハロウィンパーティー



11月

小児食物アレルギー講演会主催
最先端の食物アレルギー知識

特集
1
→裏面へ

伝えるを 形にする

食物アレルギーを伝えるサインプレートやピブスなど、アレルギーで食べられない、気を付けてほしい食品を周囲の人に伝えるサポートを形にしてお届けします。

10月～12月

認定NPO法人サービスグラント 秋のママポロ
食物アレルギーサインプレートに
関するマーケティングリサーチ実施

11月

食物アレルギーサインプレートに
「アーモンド」を追加

日本小児アレルギー学会学術大会
ブースにてご案内

特集
1
→裏面へ

特集
2
→中面へ

社会に 提案する

講演会や、患者アンケート調査などを行い、食物アレルギーを取り巻く状況や課題を医療や行政、企業に報告します。地域社会との連携を大切にしながら、子ども達をささえます。

10月～12月

東京都アレルギー疾患研修の
ブースにて情報提供を実施

10月

浅口医師会主催
岡山県アレルギーフォーラムIN浅口講演

11月

日本小児アレルギー学会学術大会
ブースにて食物アレルギーサインプレートをご案内

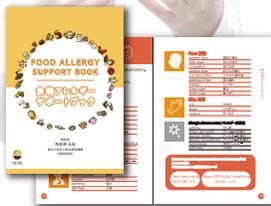
特集
1
→裏面へ



行く子も来る子も大丈夫 FOOD ALLERGY SUPPORT BOOK

食物アレルギー サポートブック

海外へ旅立つ子も日本を訪れる方たちにも安心して滞在先の食や文化を楽しんでほしい。そんな想いから生まれた日本語と英語を併記した食物アレルギー用語表現集です。



サポートブック監修

独立行政法人 国立病院機構 相模原病院 海老澤 元宏 先生

FOOD ALLERGY SUPPORT BOOK 食物アレルギーサポートブック

冊子ご購入・フリーダウンロードはこちらから ▶



編集後記

先日「アレルギーを考える母の会発足20周年記念講演会」に参加しました。この20年間で医療・行政そして患者会の方々の多大な努力により、食物アレルギーが受け入れやすい環境整備が進められてきたことを再認識しました。我が子が食物アレルギーと診断されると、外食に行くのも、お友達と遊びに行くのも常に心配がつきまといます。ただ、正しい情報を得ることでその不安をやわらげ、アレルギーの解除に向けて前向きに進んでいくことができるようになります。保護者だけではなく、社会の多くの方が食物アレルギーの子どもの誤食事故を防ぐための活動をしています。私たちが患者会として少しだけお手伝いしていますので、お気軽にお問い合わせください。

NPO 法人ピアサポート F.A.cafe

ご購入・ご支援のお願い

私たちの活動はみなさまのご寄付とママたちのボランティアで支えられています。食物アレルギーの正しい理解・啓発のためにご支援ご協力をいただけますようお願い申し上げます。



スマートフォンでQRコードを読み取るか、PCから下記URLへアクセスしてください。
<https://www.facafe.org/donation>



企画・編集・発行：NPO法人ピアサポートF.A.cafe
〒251-0052 神奈川県藤沢市藤沢1049
<https://www.facafe.org/>



Copyrights © 2019 F.A.cafe All Rights Reserved.

2020年1月発行

NPO法人ピアサポート F.A.cafe 季刊誌 F.A. CAFE TIMES

Food Allergy 食物アレルギーのこと。
ほっと一息、お茶でも飲みながら話ませんか？

Vol.3
2020
冬



学ぼう 語ろう
フードアレルギー。



私たちは医療機関と連携して
小児食物アレルギーの啓発活動を推進しています。

食べられないを伝えよう。 食物アレルギー サインプレート



アーモンドのイラスト
を追加しました！

2019年9月消費者庁発表「特定原材料に準ずるもの」として表示の推奨品目へと追加された「アーモンド」のイラストを食物アレルギーサインプレートに加えました。10月以降は、全28品目のアレルゲンに掲載したサインプレートを全国へ無償でお届けしています。

イラストシールを貼る作業は
NPO 法人スローライフの方々が行ってくれました

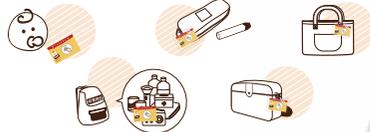
今回のアーモンドイラストの追加作業（シール貼り）は、鎌倉市の障害を持つ仲間たちが行ってくれました。日々の発送作業もスローライフの方々のサポートにより全国の病院にお届けしています。



そもそも 食物アレルギーサインプレートって？

食物アレルギーであることを周囲に伝え注意や理解を促すためのメッセージツールです。食物アレルギーの診断を受けた患者さんへ、医療機関を通じて無償で配布しています。

サインプレートの使い方は様々



サインプレート 監修

昭和大学 医学部 小児科学講座 教授 今井 孝成 先生

小児アレルギーエデュケーター

東京都立小児総合医療センター 看護部 益子 育代 先生

小児アレルギーエデュケーター

昭和大学医学部小児科学講座 管理栄養士 長谷川 実穂 先生



第56回 日本小児アレルギー学会学術大会 2019年11月2日(土)・3日(日) 団体ブースを出展

画像出典
<http://js paci56.umin.jp/>

第56回日本小児アレルギー学会学術会にて団体ブースを出展しました。全国からアレルギー専門医が訪れるこの機会に、私たちの食物アレルギーサインプレートを広く知っていただくことができました。先生方には活動のご案内とともに、新たにアーモンドを追加した食物アレルギーサインプレートを直接お渡しし、受診されている食物アレルギーの患者さんへの配布をお願いしました。



ブース出展の様子

医療関係者の声

ブースにお立ち寄りいただいた医療関係者の方に食物アレルギーサインプレートに関するアンケートを実施、ご意見をいただきました。



Q. 食物アレルギーサインプレートに期待する効果は何ですか？

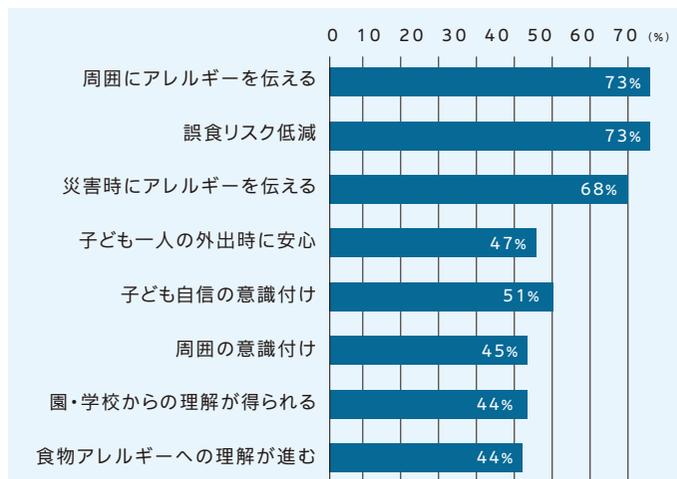


表1 第56回日本小児アレルギー学会学術大会での医療関係者アンケート
(配布数73名 回答数65名・複数回答)

このアンケート結果から医療関係者も患者もサインプレートに期待する効果は同じ、ということがわかりました。



医療関係者の方のサインプレートの感想



いつも取り寄せています。患者さんも喜んでいきます。誤食防止の良いツールですね！

初めて知りました！
親子で作る、というコンセプトが良いですね。
これから活用させていただきます。



これがあるとアレルギーのある
小さい子は安心するね！

食物アレルギーサインプレート配布病院一覧

最新の配布病院を弊社ホームページに掲載しています。お近くの主治医から受取希望の場合は、ホームページに掲載のある「紹介パンフレット」をクリック・ダウンロードして、担当の先生へお渡しください。弊社から先生宛へ発送いたします。



◀ 配布医療機関一覧
(2020年1月現在)
※院内での経口負荷試験
実施病院のみ



◀ サインプレート
紹介パンフレット
掲載ページ

医療関係者の方へのお願い

幼い子ども達の食物アレルギーを伝え、誤食から守る食物アレルギーサインプレートの普及促進にご協力いただける医療機関を募集しています。無償でお送りいたします。下記フォームよりお申し込みください。



◀ サインプレート お申込フォームはこちらから

<https://www.facafe.org/sign-form>

スマートフォンでQRコードを読み取るか、PCからURLアクセスしてください。

共に学ぶ

小児食物アレルギー講演会

最先端の食物アレルギー知識

令和元年 11月16日(土) 10:00-12:00 藤沢市役所5階 会議室

アレルギーを治すための時間を過ごそう。

食物アレルギーは皆さんの住む環境や食生活、併存するアレルギー疾患へのケアによって経過を良くすることが可能です。治る時間を過ごすための方法について、一緒に考えてみましょう!



講師 藤家辰樹先生
国立成育医療研究センター 総合アレルギー科医長
日本小児科学会専門医
日本アレルギー学会指導医



食物アレルギーの正しい知識を専門医から学ぶ
秋晴れの清々しい陽気の中、藤沢市と藤沢市教育委員会の後援の元、秋の食物アレルギー講演会を主催しました。講師は、国のアレルギー疾患医療中心拠点病院にも指定されている国立成育医療研究センター総合アレルギー科医長の藤家辰樹先生。患者さん家族、行政学校・教育機関の方など様々な立場の方がご参加くださいました。

すべては子どもたちのために
食物アレルギーの正しい知識から園や学校教育機関での安全な給食の提供の考え方、もしもの緊急時対応について、動画を交えながらお話いただきました。実際のアナフィラキシー症状はどんなものなのか、いったんな薬を服用すべきなのか、そしてイベントレシーを全員で打つ練習を行いました。緊急事態の対応について学びました。約二時間に渡る講演会は、基礎から実習、最新の治療法や最先端の研究知識まで。わからない先生のお言葉はどれもわかりやすく、参加者からも学びになったという多くの感想をいただきました。



*このプロジェクトは2019年度ドナルド・マクドナルド・ハウス財団助成事業で開催いたしました。

食物アレルギーをみんなで学ぼう!

キッズチャレンジ

食物アレルギーを正しく、楽しく学び、考え、やってみる。子ども向けの食物アレルギーワークショップです。

品川食物アレルギーの会主催
キッズセミナー

食物アレルギーを
みんなで学ぼう!

令和元年9月8日(日)
10:00 ~ 12:00

大崎ゆうゆうプラザ

講師
なないろこどもとアレルギーのクリニック

石川良子 先生



石川先生の語りかけに子どもたちは夢中!



サインプレートをチョコキチョコキ



先生が見守る中エビペンを打つ練習



「アレルギーです」と伝えることが大事と実感できた!

遊びに行くときやおやつ交換するときにイメージをもって考えられるようになった!

自分で伝えることの大切さを学ぶ。そしてやってみる。
品川食物アレルギーの会主催、長らく昭和和大学小児科で勤務し、今は開業されている石川良子先生を講師にお迎えし、食物アレルギーのある子どもを対象にワークショップ「キッズチャレンジ」をコーディネートしました。座学だけではなく、絵本や先生自作のワークシートを使つてのクイズやサインプレートの制作、エビペン実習など、実際に手を動かしてもらい、楽しく理解を深めてもらう工夫をしました。



ナオミ先生のお話を真剣に聞く子ども達



28品目不使用の手作りカボチャ巾着



小学生クラスは本格的なアートを

認定NPO法人ぐるーぷ藤
子どもの生活支援事業
こども♪まるだい

年齢の違う子どもたちが夕方から過ごす居場所です。楽しい遊び、学習の手助け、おしゃべり等を通して信頼関係と生活習慣・社会性を身に付けます。

ハッピーハロウィン!
アートのクラフト、お菓子にわくわく♪
こども♪まるだいと共催で、アートバーの先生達を迎え「キッズチャレンジハロウィンパーティー」を開きました。今年はバージョンアップして食物アレルギーのお話もプラス。幼児の部と小学生の部、ふたつに分けて多くのお子さんにお集まりいただきました。かわいい仮装をしてきてくれた子どもたち。キッズ部門ではハロウィンならではのクラフトやアレルギー不使用のかぼちゃの茶巾づくりを楽しみ、小学生の部では本格的なアートにも挑戦しました。にぎやかで楽しいパーティーとなりました。

令和元年10月30日(水)

1部:15:00 ~ 16:00

2部:16:00 ~ 18:00

ヨロシク♪まるだい

講師
ナオミ先生・キャシー先生
from Artbar TOKYO
<https://artbar.co.jp/>

*このプロジェクトは2019年度ドナルド・マクドナルド・ハウス財団助成事業で開催いたしました。



ママボノ
mamabono

ママの「働く」は、もっと輝く!

“「ママ」と「社会」と「働く」をつなぐ”
認定NPO法人サービスグラントが実施する
2019年秋のママボノ に採択され、7人のママたちにご支援いただきました!



ママボノとは?

ママボノとは、育休復帰や再就職など、再び仕事への第一歩を踏み出すママのための期間限定のプロボノ(**)プログラムです。今回、私たちのチームは、ピアサポートF.A.cafeの「食物アレルギーサインプレートの普及に向けて」という



課題に対するマーケティング基礎調査を2ヶ月にわたり支援させて頂きました。

サインプレートの存在を広く認知してもらうためには

200名以上の乳幼児家庭へのアンケートや行動調査を通し、ほとんどの方がサインプレートの存在を知らないことが分かりました。

**仕事の経験やスキルを活かしたボランティア活動

一方で「周りにも是非勧めたい」という人が95%に上り、ピアサポートF.A.cafeの活動が多くの人に必要とされていることを改めて感じました。この結果をもって、今後の広報活動の提案をさせていただきました。

ママボノプロジェクトを通して

私たちのチームはアレルギーの子を持つ/持たない母親両方の属性で構成されたチームでしたが、ピアサポートF.A.cafeの熱い想いや行動力にチーム一同大変刺激を受けました。保護者だけでなく、周囲の皆でアレルギーを持つ子供たちに関心を寄せることの大切さに気付くきっかけになりました。

私たちも今回の活動をきっかけに、サインプレートのことを知りました。調査を進めるうちに、サインプレートの有用性を認識し、もっと沢山の方々にぜひ知っていただきたいという思いが強くなりました。ご家族やご友人との会話の中で食物ア



レルギーの話題が出た際には「サインプレートって知っている?」と聞いてみたり、SNSに投稿してみたり、この記事を読んでくださった皆さままで広めて頂けると幸いです。食物アレルギーで悩んでいる方々に、少しでもサインプレートが届くように、なるべく多くの皆さまのご協力を私たちからもお願いいたします。最後になりましたが、ピアサポートF.A.cafe様の今後の益々の発展を心より応援しております。貴重な体験をさせて頂き、本当に有難うございました。

(執筆協力:ママボノ チーム)

アレルギーフォーラムIN浅口 講師としてお招きいただきました。

令和元年10月27日

場所:浅口市健康福祉センター3階「シリウス」



岡山県浅口医師会主催のフォーラムに講師として招かれお話ししました。始めに、なすのがはらクリニックの古川真弓先生が講演した後に当団体の代表が「安心を備えよう!食物アレルギーの子どもたちへ」と題して、すべきこと/できる備え/私たちができ

る患児教育と社会啓発/少し先の未来、中高生の心がけの4点についてお伝えしました。参加者からは「行政でできることは何かを考えさせられました」「医療者からだけでなく、ピアサポートとして啓発してもらえることは素晴らしい」「成長していく子どもへの対応、周囲への働きかけを分かりやすく説明してもらった」などたくさんコメントを頂きました。一方で発表した私達も、医師会 & 行政 & 患者会の皆さんが協力して地域社会全体でアレルギー啓発と患者支援に取り組む浅口市の様子を拝見し、感銘を受け多くのことを学ばせていただきました。私達が日頃活動する地域でも今回の学びを活かしたいと思えます。お招き有難うございました。

東京都

令和元年度 アレルギー疾患研修

東京都では、アレルギー疾患を持つ患者や家族の相談、支援等に携わる保健・医療・福祉関係者に対して、疾患に関する正しい知識を普及しそれらを生かしてよりよい相談、適切な支援をしてもらうことを目的に研修を実施されています。研修会場で私たちのブースを出展し食物アレルギーキッズビブスを中心にご案内しました。



安心を備えよう。

食物アレルギー キッズビブス



F.A. オリジナルの専用 役立つパンフレット 2冊付き!

● 取り寄せ方

スマートフォンで右のQRコードを読み込む、または下記URLよりWEBサイトへアクセスしてください。

<https://www.facafe.org/kidzbibus>



サイトにはフリーダウンロード可能な食物アレルギー キッズゼッケン も掲載!

